

一問一答 道徳の教科書採択手順が変更された理由は

一層適正化するための改善を図ることが目的である

服部ひとみ 議員(共産) 平成29年8月の教育委員会定例会において、30年度の道徳の教科書が採択されたが、既に臨時会が非公開で開催され、



▲道徳授業の様子

は、第7期介護保険事業計画の策定に当たり、「法改正」による影響から高齢者を守るために

一問一答 学校の避難所運営組織としてスクールコミュニケーションティ協議会を活用する考えは

多くの学校に広がるよう積極的な連携を支援していく

杉村康之 議員(民進) 市の避難所運営の組織づくりには、地域から意識の機運が生まれるようなきっかけが必要だと思ふ。そこで、避難所運営マニュアルを地域住民と共有し、地域の人を学校の鍵が入ったキーボックスの管理者として同マニュアルに記入することが、組織づくりのきつかけとして有効と考えるがどうか。
行政管理部長 同マニュアルの共有が第一歩となることから、適切な機会を捉え、検討していく。

総務委員会

第73号議案 建物の無償譲渡について

この議案は、府中市宮町1丁目1番地の建物を京王電鉄株式会社へ無償譲渡するもの。主な内容として、「市政情報センターの移転及び建物の用途廃止に伴う、敷地の返還に当たっては、返還に必要な原状回復が構造上困難であり、同社が駅舎と建物を一体的に管理することが適切と考えられることから、無償譲渡とする」等の説明があった。

質疑に対して、「当初は有償譲渡を想定していたが、建物が駅舎に直結をしているという特殊性があり、利用者の安全・安心を確保していくためには、無償であっても譲渡し、同社が将来にわたって駅舎と一体で管理するべきと考える」「建物については、約1500万円の価値が残っているものと聞いている」「府中駅改札口北側の旧駅務室の一部が新たに市で利用できる」等の答弁があった。

文教委員会

第71号議案 府中市郷土の森博物館プラネタリウム改修工事請負契約

この議案は、府中市南町6丁目32番地において、郷土の森博物館プラネタリウム改修工事を実施するもの。主な内容として、「株式会社五藤光学研究所と契約金額4億608万円で仮契約を締結し、工期は平成30年4月27日までである」「プラネタリウム室には、デジタル式全天周映像システム等を設置する」等の説明があった。

質疑に対して、「新たなプラネタリウムの宣伝方法については、民間のアイデアを活用し、工事期間中から市民の方や市外の方に対して、様々なPR活動を行っていききたい」等の答弁があった。

委員から、「工事を無事故で終え、30年5月に開設ができるようお願いする」「今まで活躍したプラネタリウムについても、何か残すことを要望する」等の意見があった。審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生委員会

第69号議案 府中市市税条例の一部を改正する条例

この議案は、地方税法の一部が改正され、地域決定型地方税制特例措置、いわゆる「わがまち特例」の対象となる資産が拡充されたことや軽自動車税の税率を軽減する特例措置の適用期限の延長に伴い、所要の改正を行うもの。

主な改正内容として、「家庭的保育事業に係る固定資産税の課税標準の特例割合について、保育の受け皿の整備促進の観点から、納税者の税負担が最も軽減される3分の1と定める」「市民緑地について、本市においては配慮すべき特段の事由がないため、参酌割合である3分の2と定める」等の説明があった。

質疑に対して、「市民緑地については、緑地保全・緑化推進法人が所有し、または無償で借り受けている土地に設置・管理されるものが対象となる」等の答弁があった。

建設環境委員会

第72号議案 電線類地中化事業の施行に伴う譲渡設備を活用した電線共同溝工事等の委託に関する平成29年度協定(E-朝日町通り他1-29)の変更について

主な変更内容として、「平成29年4月に締結した東京電力パワーグリッド株式会社との協定において、府中市全域で進めている街路灯・公園灯LED化整備等事業に合わせ、電線類地中化事業で設置する街路灯についてもLED化を行う必要が生じたことなどにより、協定金額の変更を行う」等の説明があった。

質疑に対して、「協定金額の増額分については、街路灯がLED化することに伴い、当初の設計を見直すものなどである」等の答弁があった。

委員から、「工事中の歩道の安全に関して、地元の方からの不安を感じられる意見があったため、今後、植栽などのスケジューリング等について配慮をお願いする」等の意見があった。審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別委員会の中継報告から

基地等跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況について、調布飛行場諸課題検討協議会が開催され、都から、航空機墜落事故に関する運輸安全委員会事故調査報告書の説明を受け、三鷹市、府中市、調布市は、都に対し、今後の対応について速やかに協議を進めることなどを改めて強く求めている。また、武蔵野の森総合スポーツプラザについては、平成29年11月の開業が正式に決定し、開業当日はオープンングイベントの開催を検討している。

府中基地跡地留保地の状況について、利用計画策定に向け、市基地跡地留保地利用計画検討協議会委員の選考を進めており、このうち公募による市民2名の募集が広報で行われているなどの報告があり、これを了承した。

再開発対策特別委員会

府中駅南口再開発事業に関して、「ル・シー・ニエ」の開業日である平成29年7月14日から4日間の来客者数については、当初の想定よりも2倍以上の約14万3000人となっている。

仮設店舗解体及び原状回復工事に係る契約の締結について、組合では、京王電鉄株式会社から、京王線高架下への監督員の資格を有する者を配置できる会社を指定されているとともに、組合発注工事の実績があったことから、清水建設株式会社と契約を締結している。

今後の予定については、30年の夏頃に、事業計画の変更及び組合の解散のための総会を開催し、都に解散認可の申請を行う予定であるなどの報告があり、これを了承した。

市庁舎建設特別委員会

設計に関する状況について、外構計画の検討を進めており、平成29年7月現在での検討内容では、プライバシーに配慮することや誰もが快適に通行できること、敷地内における利用者の安全性に配慮することの三つの考え方を基に計画している。

新庁舎に係る備品については、現在庁舎で使用している備品を一定の基準に基づくランク分けを行った結果、耐用年数を大幅に超えているなどランクが低いことが判明したことから、全て新規に購入することを前提とし、定価ベースで総額9億円から10億円を見込んでいくなどの報告があり、これを了承した。